

障がい学生支援室公開講演会

多様に進化する学生のニーズに応える大学へ

～義務教育における学びのユニバーサルデザイン（UDL）をヒントに～

【日時】 3月16日（金） 17:00～18:30

【会場】 長崎大学グローバル教育・学生支援棟
4階文教スカイホール（長崎市文教町1-14）

入場
無料

★手話通訳・パソコン要約筆記による情報保障あり

※一般の駐車スペースはございませんので、お越しの際は公共交通機関をご利用くださるようお願い致します。障害等の理由により車での来場をご希望の方は、下記「お問い合わせ先」へ事前にご相談ください。

事前
申込制

プログラム

16:30	受付	
17:00	開会挨拶	塚元 和弘（長崎大学理事 / 教学担当・障がい学生支援室長）
17:05	概要説明	「障害のある大学生の現状について」 ピーター・バーニック（障がい学生支援室 助教）
17:15	基調講演	演題 「多様に進化する学生のニーズに応える大学へ」 納富 恵子（福岡教育大学大学院 教育学研究科 教育実践講座 教授（医師））
18:15	質疑応答	
18:25	閉会挨拶	調 漸（長崎大学学長特別補佐・障がい学生支援室副室長）

【申込方法】 下記URLまたはFAX（裏面）・メールでお申し込みください。

<https://goo.gl/forms/mZ1iIFigcSPpuh0D2>

【申込締切】 3月9日（金）

※当日でもご参加いただけますが、資料準備のためなるべく事前申込にご協力ください。

【お問い合わせ先】 長崎大学 障がい学生支援室

電話：095-819-2006 FAX：095-819-2974

E-mail：support@ml.nagasaki-u.ac.jp

※メールの場合は必要事項（裏面の項目）をご記載のうえ、上記アドレスまでお送りください。

【主催】 長崎大学 障がい学生支援室

【共催】 長崎大学 保健・医療推進センター 長崎大学 教育イノベーションセンター

【協力】 長崎大学 ダイバーシティ推進センター

講師プロフィール

納富 恵子 氏 (略歴)



米国の自閉症児者教育プログラムTEACCHのトレーニングをうけた経験から、教員養成の大切さに気づき、福岡教育大学で教育研究を続けている。家族と連携した構造化された指導の効果検証や通園施設・小・中学校・特別支援学校へのコンサルテーションの実践研究を行い、その成果の一部は、福岡県教育センターの研究紀要「はじめよう自閉症の子どもへの支援」「すすめよう自閉症の子どもへの支援」で公開している。

平成21年教職大学院に異動後は、現職教員の院生と、特別支援教育の推進や米国で考案されたUDL(学びのユニバーサルデザイン)ガイドラインを活用し多様な子どもたちにとって、わかる、表現できる、意欲的に取り組める授業改善の研究を行い、効果を実証している。

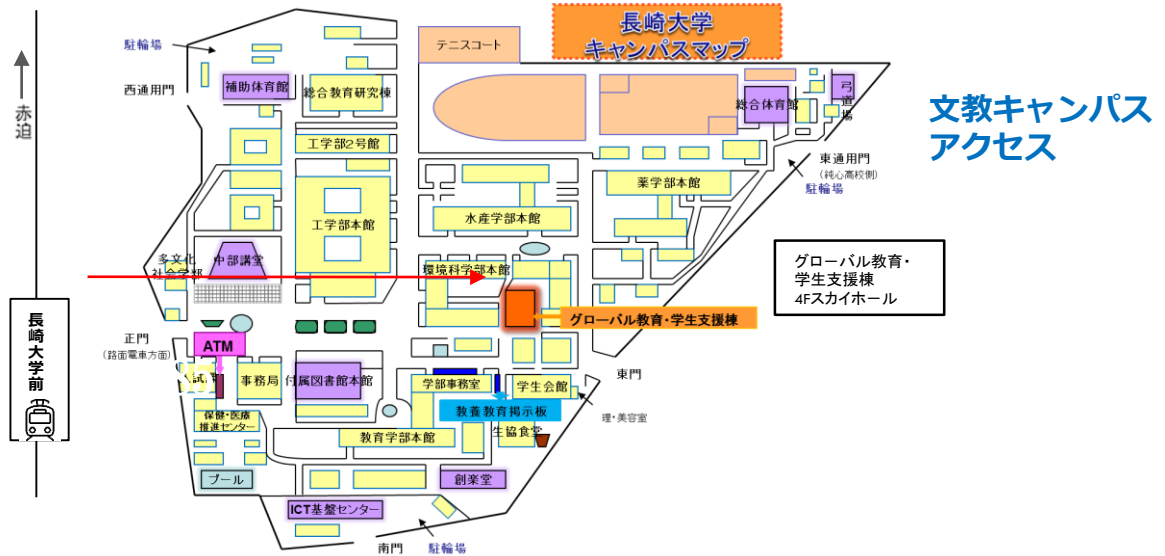
平成26年東京大学先端科学技術研究センター内地研究員として、iPadの活用を研修。

(著書)

「はじめての特別支援教育 改訂版」(共著、有斐閣、2014)

「自閉症の基本障害の理解とその支援・対応法」(共著、明治図書、2009)

「イラスト・まんがが教材で「気持ち」を理解-自閉症スペクトラム児の発達支援」(共著、川島書店、2006)



FAX申込書 (送付先：095-819-2974)

氏 名		フリガナ	
電話番号 またはFAX		メールアドレス	
職 種 等	※□にチェック(☑)をしてください <input type="checkbox"/> 教育・保育関係 <input type="checkbox"/> 福祉関係 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input type="checkbox"/> 就労関係 <input type="checkbox"/> その他		
所 属 先	※差支えなければご記入ください		

ご参加にあたり、配慮を希望される場合は、その内容をご記入ください。

問合せ
申込先

障がい学生支援室 (長崎大学内)

〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL : 095-819-2006 FAX : 095-819-2974